



TIGER CARE

タイガーケア

事例紹介について

株式会社FENTZ



利用者①情報 I様

要介護2

利用者情報	男性、独居
主な疾患	慢性心不全、腎不全、認知症、肝硬変、下肢筋力低下
入所の経緯	免許未更新で事故を起こし、その後心不全増悪にて救急搬送され入院。 今後在宅は難しいと判断し入所予定となる。 事故の事情徴収があり一時帰宅その間定期巡回を利用。 1か月間の予定が在宅継続となっている。

毎日	食事の声掛けや準備、服薬介助、買い物、リハパン確認
必要時	入浴の声掛け・見守り、掃除、ゴミ出し
コール内容	ADL低下時又は緊急時随時対応、随時訪問

プラン作成

移乗	自立	調理	介助
移動 移動の用具	自立	配膳	介助
食事	自立、ヘルパー	掃除	介助
着脱	自立	洗濯	介助
排泄 排泄用具 排泄介助数	自立	服薬 服薬回数 服薬管理	介助
入浴 入浴方法	介助	買物	介助・本人
		お金の管理	本人

課題と在宅サービスのポイント



自由気ままに自宅で生活したいという本人の希望をふまえ、ADLの状態による転倒リスク、認知症による服薬忘れを頻回な訪問により防止する。

サービス導入後の生活について（I様）

利用のメリット



好きなたばこを吸いながら気ままな生活が出来ている。転倒を繰り返しているがご本人の意思を尊重しながらヘルパーとコミュニケーションを図り楽しい生活が送れている。定期巡回を利用しできる事も増えている。体重の増加はあったが食事が重複していたこともアセスメントが出来ており食事の声掛けで食べていない時に準備する方法に変えて自立支援が出来ている。体調不良時には自らコールし助けを求める事で精神的不安の軽減が出来ている。

利用の課題



本人の入院嫌いがある。本当に入院が必要になった時の為にコミュニケーションをしっかりとヘルパーとの信頼関係を築き、心境の変化に柔軟に対応する事が必要となる事が予想される。今後この課題に対して取り組んでいく。

利用者③情報 S様

要介護5

利用者情報	男性、敷地内別棟に奥様
主な疾患	アルコール依存症、栄養消耗症
入所の経緯	訪問看護が入っており顔などにあざが出来ている事をケアマネへ報告し奥様又は次男からの虐待案件として複数回の介護が必要となった。

毎日	排泄、整容・更衣介助、水分補給、陰部洗浄、服薬確認
必要時	清拭、洗髪、デイサービス送り出し
コール内容	ADL低下時又は緊急時随時対応、随時訪問

プラン作成

移乗	介助
移動 移動の用具	車椅子
食事	介助
着脱	介助
排泄 排泄用具 排泄介助数	介助
入浴 入浴方法	清拭

調理 配膳	奥様
掃除	奥様
洗濯	奥様
服薬 服薬回数 服薬管理	介助・奥様
買物	奥様
お金の管理	奥様

課題と在宅サービスのポイント



ヘルパーが複数回ランダムに随時訪問することで虐待防止や食事も改善される。

サービス導入後の生活について（S様）

利用のメリット



サービス導入時はお酒と眠前薬を乱用されており意識ももうろうとなっていたが導入後は眠前薬をやめた結果意識がはっきりされてきた。エアコンも無く廃墟状態の家に住んでおられ台所やトイレにも入る事を許されていない。奥様が用意された水とケトルでお湯を作る。食事もじゃこ天とビスケットのみだったが最近総菜・パン・水分・たまには調理品も用意されるようになった。ヘルパーとコミュニケーションをとる事で奥様のストレス軽減にもなり奥様の表情が明るくなった。体調好転し、デイサービスに参加できるようになり入浴、栄養補給、他者との交流が可能になった。年明けには、連携訪問看護と協力して本人の希望である「餅が食べたい。」を実現する。最近ではアルコール依存もなくなり、記憶力がアップし時間を気にするようになる。今後はカレンダーを使用しデイサービス利用日の確認が自分できる環境を整える予定。

利用の課題



エアコンもない環境下、今年も予想される猛暑を乗り切る対策が必要。ADLの改善にともないベッド上だった行動範囲がベッド下にまでのびている。転倒、表皮剥離、骨折のリスク対策が必要である。

利用者⑨情報 U様

要介護2

利用者情報	女性、独居
主な疾患	老衰、認知症
導入の経緯	本人の意思により施設、病院には行かない。体のしんどさ痛みからくる希死念慮あり。褥瘡も誘発していて立ち上がりも困難、移動も全介助でキーパーソンの姪子様の介護負担が増大し精神や疲労の限界にあった。

毎日	健康チェック、軟膏塗布、おむつ交換、陰部洗浄、皮膚状態観察、口腔ケア、点滴滴下注意、食事準備、食事介助、水分補給、介入時異変がある場合は、訪問看護師に報告・連絡
必要時	洗濯、更衣介助、シーツ交換 洗い物
コール内容	ADL低下時又は緊急時随時対応、随時訪問

プラン作成

移乗	全介助	調理 配膳	ご家族、ヘルパー
移動 移動の用具	全介助	掃除	ご家族
食事	全介助	洗濯	ご家族、ヘルパー
着脱	全介助	服薬 服薬回数 服薬管理	全介助
排泄 排泄用具 排泄介助数	全介助	買物	ご家族
入浴 入浴方法	全身清拭	お金の管理	ご家族

課題と在宅サービスのポイント



看取り時期の頻回な訪問による身体介護と介護医療連携による24時間体制での支援の実現。

お サービス導入後の生活について（U様）

利用のメリット



訪問看護と連携し24時間体制で支援する事で姪子様の介護負担の減少、定期巡回使用ソフト（ポータル）の閲覧による訪問看護・ケアマネ・ご家族間の情報共有の実現。見守りカメラ（弊社負担）の導入による24時間の見守り対応による急変に対する迅速な対応と安心に繋がる。

利用の課題



今回の事案については定期巡回として最高な看取りが実現できたと考える。